

沖縄県「ヤングケアラーに関するアンケート調査（中高生）」

ご協力をお願い

令和4年9月

中学生・高校生保護者の皆様

この度、沖縄県では、県内の中高生に、学校や家庭での生活の中で抱える困りごとなどを聞かせていただき、その解決に必要な支援策を検討するためにアンケートを実施します。

アンケートの中には、家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども（ヤングケアラー）の存在が国の調査で明らかになったため、ヤングケアラーについての質問も含まれております。

本調査は沖縄県が行う調査ですが、任意の調査であり、回答の可否は自由です。調査は無記名で行い、回答内容についても統計的に処理しますので、お子様が特定されたり、外部に知られることはありません。また、答えにくい質問がある場合は、答える必要はありません。

設問の最初に、回答意向をうかがいますので、回答しない・出来ない場合は「いいえ」と回答して下さい。

ご回答いただいた内容は厳重に保管し、本調査研究や関連調査、学術研究の目的以外には使用しません。

保護者の皆様におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひお子様の調査へのご協力にご理解をお願いいたします。

なお、このアンケートに関する問い合わせは、学校ではなく、以下のお問合せ先調査協力会社までお願いいたします。

特別支援学校の保護者の皆様におかれましては、以下に留意いただき、サポートをお願いいたします。

- ・お子様の意思確認ができる場合は、そのまま調査票へ回答して下さい。確認出来ない場合は冒頭の質問（回答意向確認）について、「いいえ」と回答し回答終了として下さい。
※回答しない場合も「いいえ」と回答して下さい。
- ・回答の途中において回答出来ない質問があった場合は、無回答のまま次の問いへ移行しても構いません。
- ・お子様の意思確認は出来るが回答にサポートが必要な場合、恐れ入りますが可能な範囲内で回答のサポートをお願いします。

（お問合せ先）

◆調査協力会社
株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所
フリーコール 0120-656-652
メールアドレス oki-student@surece.co.jp
平日：午前9時～午後6時 ※土・日・祝日除く

◆調査実施主体
沖縄県 子ども・生活福祉部 青少年・子ども家庭課

【参考】

ヤングケアラーへの支援がなぜ必要なのか

ヤングケアラーの子ども達は、家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、学校に行けない、友達と遊びに行けない、子ども自身がやりたいクラブ活動ができない、勉強の時間をとることができないなど、重い負荷がかかっている可能性があります。

しかし、子ども自身がそのような状況にあることに気づかなかつたり、困っていることを相談できない場合があります。そのため、必要であれば、福祉サービスの利用等につなげ、子どもの家族へのケアに関する負担を軽減することが求められます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている 18 歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



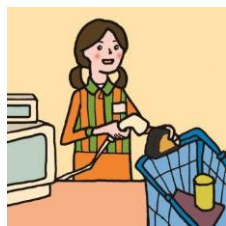
障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

参考：一般社団法人日本ケアラー連盟/ illustration : Izumi Shiga

■ 相談窓口

日本精神保健福祉協会「子どもと家族の相談窓口」

✉ kodomotokazoku@jamhsw.or.jp

🕒 相談時間：24 時間受付

